

第3回 学校運営協議会

日時: 令和4年10月29日(土)
14:00~15:30
場所: 麓玉小学校 会議室

学校教育目標 「自ら考え みがき合う子」

学校経営目標 「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、

主体的に考える力を育てる学びの創造」

次第

司会: 教頭

- 1 日程説明 (教頭) 14:00
- 2 挨拶
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 校長挨拶 これまでの学校教育活動
- 3 議長の選出
- 4 第2回学校運営協議会の議事内容確認 (議長)
- 5 熟議 (司会: 議長) 14:10~15:15
 - 第1回学校評価の分析と「チャレンジ期」の検証 (教務)
 - ・実践部会 (職員) と学校運営協議会のメンバーとの熟議 (各実践部長)
 - ※「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」の3部会に分かれる
 - ・今後の学校行事と来年度の教育課程編成に向けて (教務)
- 6 今後の取組について 15:15~15:30
 - (1) 第4回学校運営協議会について
 - (2) 学校支援コーディネーター・ディレクターより
 - (3) 教育総務課より
 - (4) その他



令和4年10月3日



鹿っ子だより

浜松市立鹿玉小学校

<学校教育目標> 自ら考え みがき合う子

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/aratama-e/>

～学びの充実を目指して～

9月に入ってから暑さが続いていましたが、10月に入り、過ごしやすくなったように感じました。子供たちは、暑さによるストレスが軽減され、何となく笑顔が多くなったような気がしています。

さて、10月は学校にとって**学びの充実期**になります。「鹿っ子だより 4月号」でお知らせしたとおり、本校では10月～12月をチェンジ期と設定して射す。4・5月のスタート期、6～9月のチャレンジ期を振り返り、教育活動の改善を図りながら、チェンジ期を進めてまいります。

学びの充実期として、どんなことが行われるのか（行われたのか）紹介します。9月末には、2・6年生の校外学習が行われました。2年生の校外学習には、多くの保護者の方々に引率していただきました。子供たちが安全に活動を進めることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。また、6年生の校外学習は、11月に実施する修学旅行を視野にグループ学習の練習も含めて実施しました。グループ学習の成果と課題を皆で確認し、より良い修学旅行になっていくことでしょう。



そして、鑑賞教室（打楽器アンサンブルコンサート）も本校体育館で行いました。子供たちが知っていそうな楽曲を、打楽器の説明も加えながら、演奏していただきました。子供たち一人一人が「芸術の秋」を満喫することができました。

明日、10月4日（火）には、「あらっこフェスタ」を児童会主催で実施します。縦割り班でクイズラリーを行います。異年齢での交流活動を通して、リーダーシップや協力する心を養っていくことが目標です。その後も1年生のリンゴ収穫体験、部会陸上記録会、「蛭沢池の秘密に迫ろう」（蛭沢池の水を抜く工事があり、その途中を見学させていただく活動です。全校児童対象）、5年生の工場見学など、それぞれの学年で体験を重視した活動が組まれています。

各委員会活動も主体的な活動が目白押しとなっています。日々の学習と体験を重視した活動及び子供の主体的な活動等を織り交ぜ、子供一人一人の学びが充実していくことを期待しています。そして、その先に、「鹿っ子だより 9月号」に書いた「学校に行くのが楽しい」の設問で、良い結果が出ることも目指しています。

校長 西川 正師

廊下歩行

毎週水曜日の元気タイムには、校内で呼びかけをして、廊下や階段の右側を、走らずに歩くことを意識させています。以前よりも落ち着いて歩くことができるようになってきました。また、声を掛けられると、すぐに走るのを止め、歩くことができるようになってきた子供たちも多くなりました。安全のためにも、今後も廊下歩行を意識させていきたいと思えます。



新体力テスト実施

学年別に行われた新体力テストが終わりました。体力テストには、「握力・立ち幅跳び・反復横跳び・上体起こし・長座体前屈・ソフトボール投げ・シャトルラン・50m走」の8種目があります。子供たちは、どの種目にも真剣に取り組んでいます。今回の結果を分析し、良い面はさらに伸ばし、改善が必要なものは、体育科の授業を中心に、力を伸ばしていけるようにしたいと思います。



読み聞かせ

メタセコイヤの皆様にも、毎週火・木曜日を中心に読み聞かせをやっていただいています。学年の発達段階や子供たちの興味・関心等を考え、本を選んで読み聞かせをしてくれています。読み手のパフォーマンスで、子供たちは、本の世界にぐいぐい引き込まれています。

本は心の栄養と言います。感受性豊かな今の時期に、たくさんの本に出会ってほしいと思えます。



2年生校外学習

先日、2年生が校外学習で浜松市動物園に出かけました。グループ活動を中心に、班員の皆で協力し、クイズを解きながら、園内を回りました。クイズを解いていくことで、動物園をより深く知ることができました。また、獣医のお話を聞くこともできました。動物の習性、治療方法、飼育員との連携の大切さや仕事のやりがいについて、直接お話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。



令和4年度 第2回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月28日（火） 13時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 竹内 茂 伊藤 順子 渡邊 剛一 萩原 蓮實 平野 和江 松下 信子
曾我 雅也 鈴木 真由美 森田 智佳
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 西川 正師（校長） 大栗 啓司（教頭） 阿部 泰幸（教務主任）
町田 和代（CSディレクター）
- 6 オブザーバー 堀田 洋一（教育総務課） 椛 通安（亀玉協働センター職員）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 第1回学校運営協議会の議事内容確認（会長）
 - (2) 授業参観から
 - (3) 「スタート」ステージの検証（評価）と今後の取組（熟議）
 - (4) DVD視聴 井上尚子氏講話 ※約20分
 - (5) 地域での活動計画 人材活用・学習ボランティア・見守りボランティアの
要望等（熟議） ※学年主任との協議
- 9 会議録作成者 CSディレクター 町田 和代

10 会議記録

(1) 第1回学校運営協議会の議事内容確認（会長）

議長の竹内氏から、第1回学校運営協議会の議事内容確認があり、委員全員で確認し

異議なく承認した。

(2) 授業参観から

・発達クラスの水泳の授業で先生が子供たちをしっかりと目視して準備運動をしていた。

先生のきめ細かい指導が良い。

・高学年は授業に集中していた。学力向上につながってほしい。

・タブレット準備中に好き勝手している子がいた。子供たちのサポートをする人が居ると良いのではないか。（平野委員）

・4月に参観した時よりもざわついているクラスがあった。授業の内容によって違いが

あるのだろうか。

・発達クラスの子供たちは授業を頑張っている。良い環境なのになぜ教室に居ることができないのか不思議。（松下委員）

・今日は教室から出ている子がいないのに驚いた。

・みんな前を向いて授業を受けていたが、一人髪の毛の手入れをしている子がいた。

先生が注意することもなく、周りの子供たちも気にしていなかった。（森田委員）

- ・先生がいないと何をして良いのかわからず、教室を出ている子がいた。
- ・タブレットをキーボード入力させてくれているのが良い。(鈴木委員)
- ・高学年は落ち着いて授業を受けていたが、低学年は落ち着きがなかった。今後
に期待
したい(曾我委員)
- ・つい自分が小学生の頃と比較してしまうので現状に驚いている。今の子供たちは
自由
奔放で、自分の思うように行動している。
- ・自分の意見を言えることは良いが、正しい発言・行動の方法を覚えたら良い大人
になれると思う。(渡邊委員)
- ・午後は支援の先生がいないので先生が大変そう。
- ・手のかかる子も、登校中はしっかりしてきたと思う。(伊藤委員)
- ・スポーツフェスティバルの練習を見た時、参加していない子がいた。理由を聞いた
ら
めんどくさいからと言われた。
- ・早めに来て掃除の時間を見た。上級生が中心となり、下級生に掃除の方法を教
えていた。縦割りの良い効果がでていた。(竹内委員)

(3)「スタート」ステージの検証(評価)と今後の取組(熟議)

議長の指示により、教務から、資料に基づき「スタート」ステージの活動の説明
および、今後の取り組みの説明があった。

(4) DVD 視聴 井上尚子氏講話 ※約 20 分

(5) 地域での活動計画 人材活用・学習ボランティア・見守りボランティアの要望等(熟
議)

- ・各学年の主任から①子供の様子 ②必要な学習ボランティア ③地域とのつな
がりを
深める活動の説明があった。

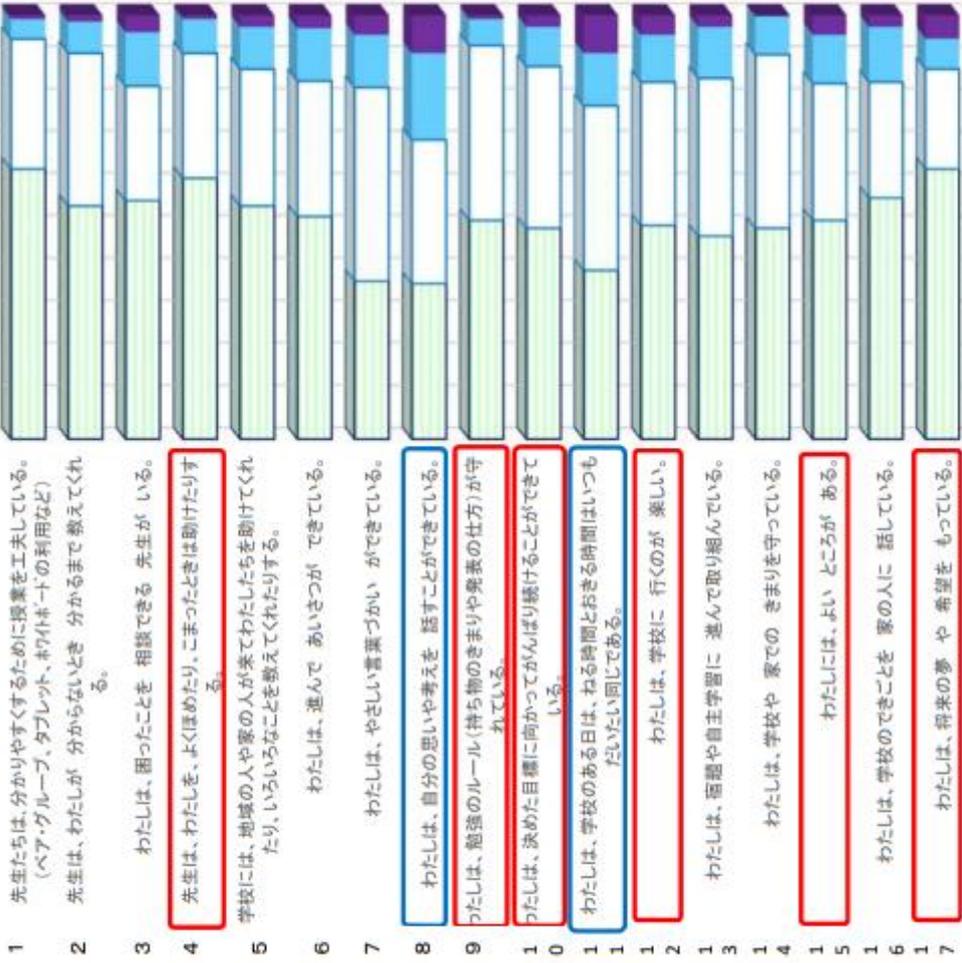
10 その他報告事項(今後の予定)

事務局から、学校運営協議会自己評価についての説明及び、次回会議は令和 4 年 10
月 29 日(土)午後 14 時から開催する旨の報告があった。

令和4年度前期 児童アンケート結果 今年7月と昨年度末との比較

1 学期児童学校評価

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

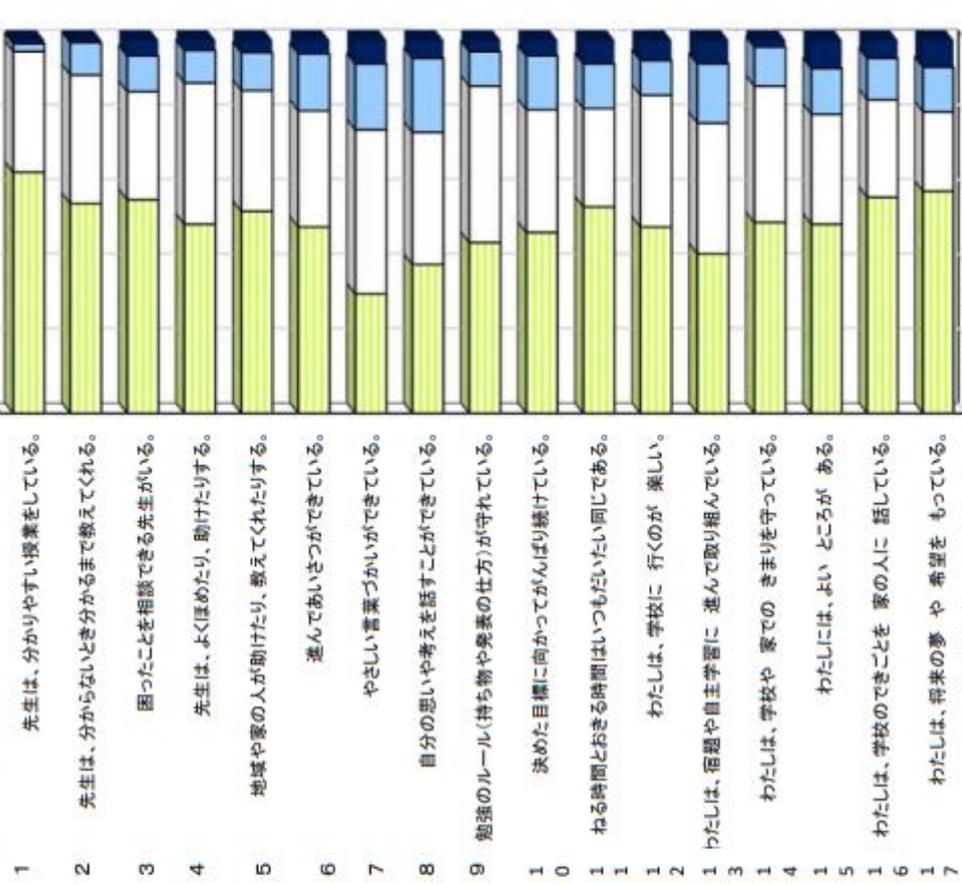


■ あまりそう
■ そう
■ あまりそうでもない
■ そうでもない

令和4年7月

令和3年度後期

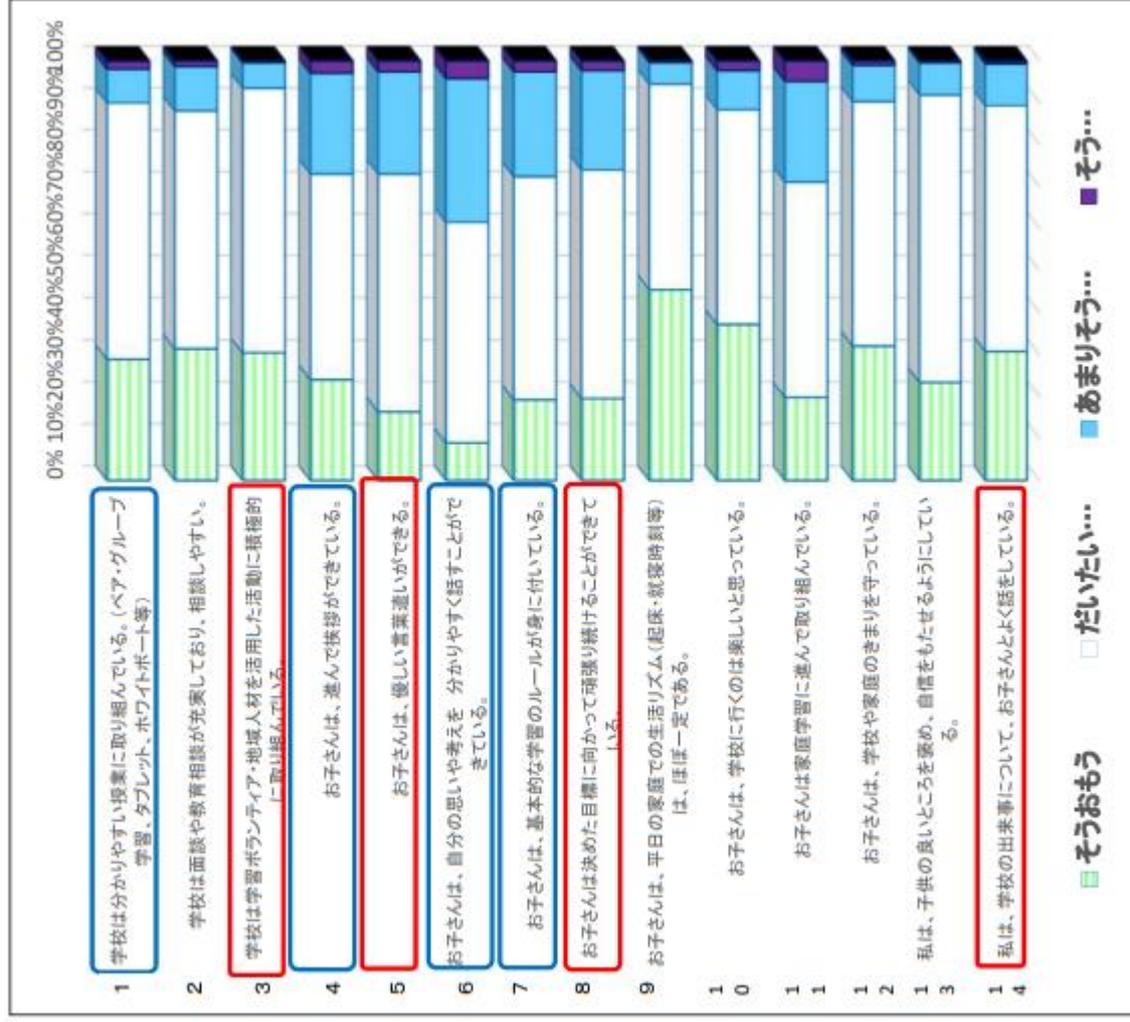
0% 20% 40% 60% 80% 100%



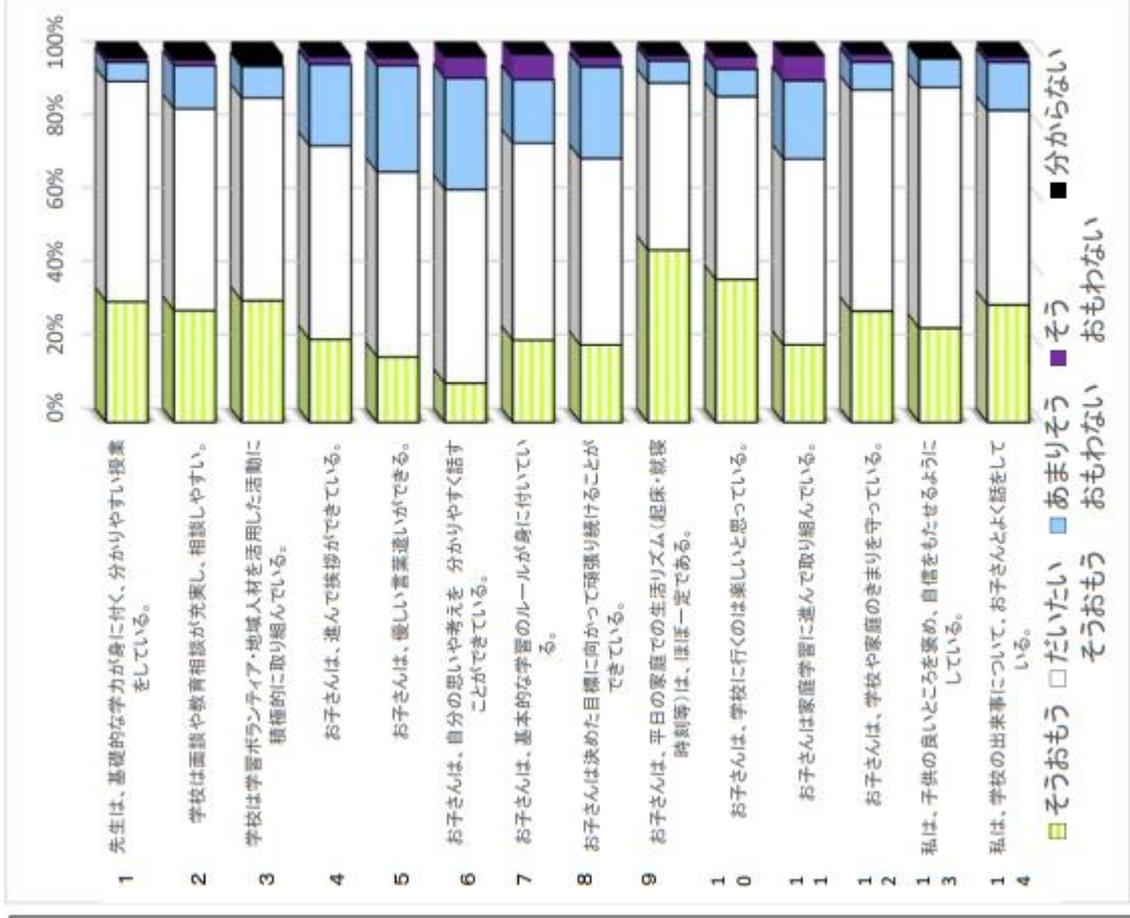
■ あまりそう
■ そう
■ あまりそうでもない
■ そうでもない

令和3年12月

令和4年度前期 保護者アンケート結果 今年7月と昨年度末との比較



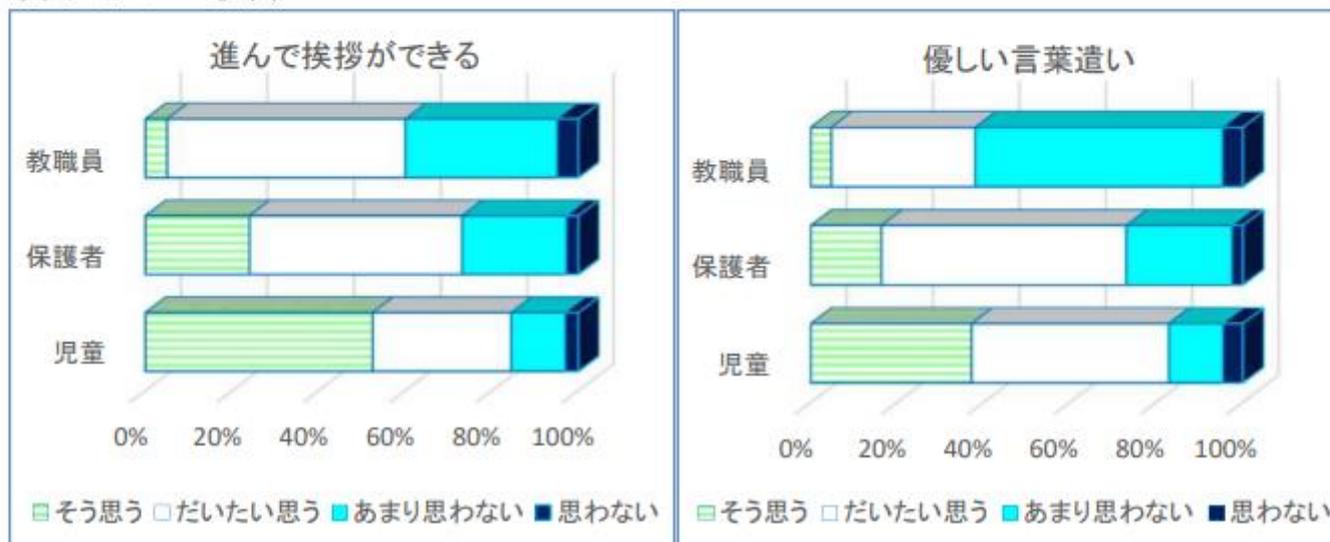
令和4年7月



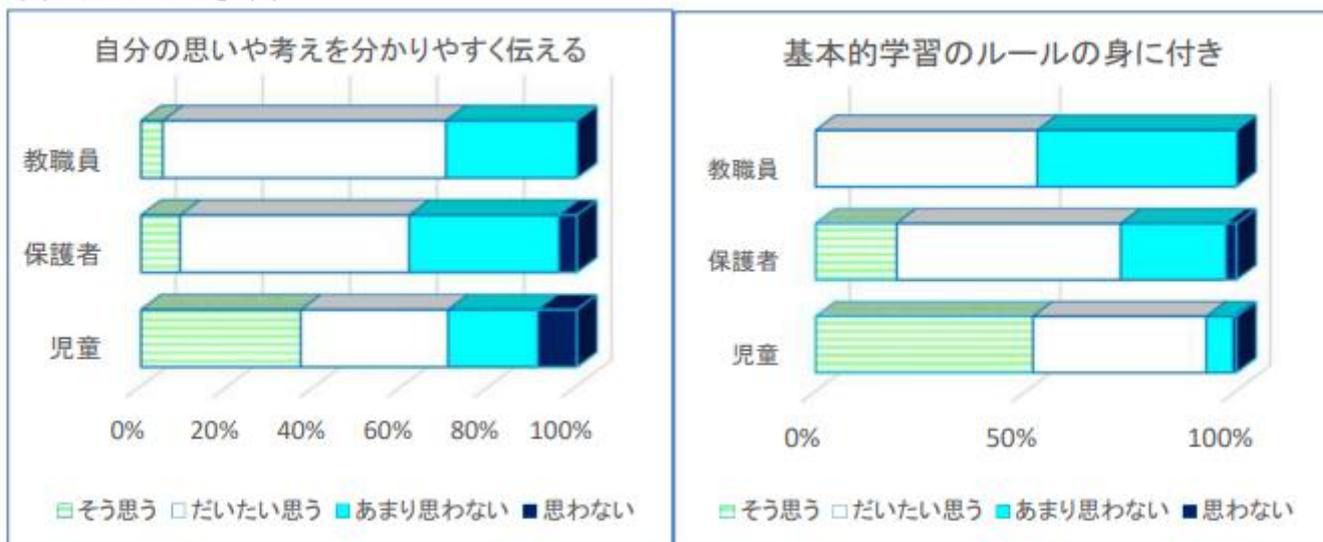
令和3年12月

令和4年度 前期 6項目3者の実現度比較

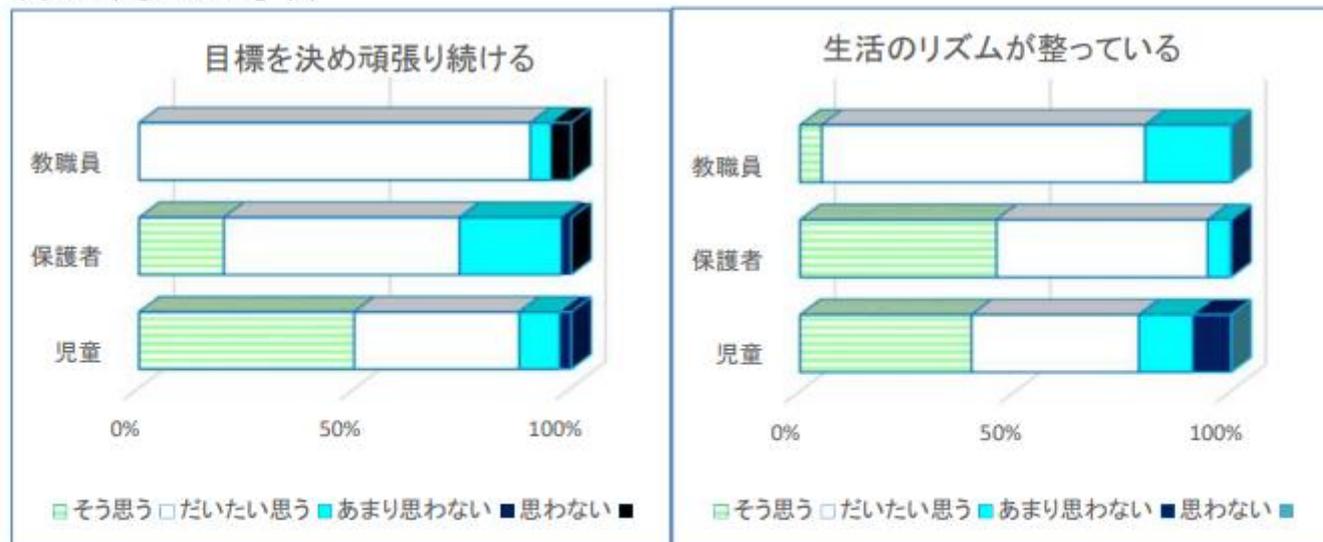
☆やさしい子☆



☆かしこい子☆



☆たくましい子☆



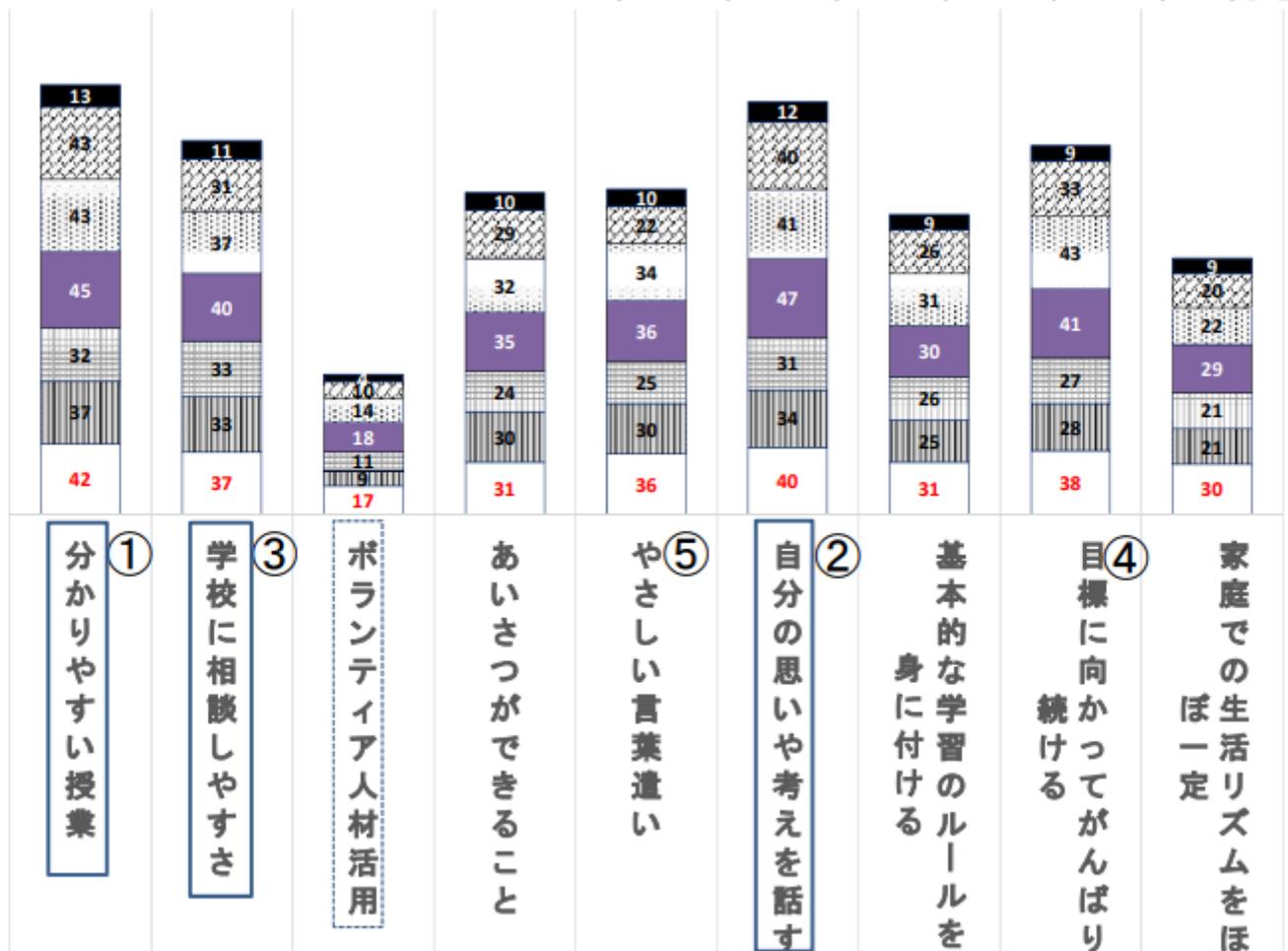
令和4年度 1学期 保護者重要度アンケート

2 下の項目で 大切だと思うもの全てに○を付けてください。

ふりかえり	こうもく	1年	2年	3年	4年	5年	6年	発達	
2	分かりやすい授業	42	37	32	45	43	43	13	255
4	学校に相談しやすさ	37	33	33	40	37	31	11	222
6	ボランティア人材活用	17	9	11	18	14	10	4	83
8	あいさつができること	31	30	24	35	32	29	10	191
10	やさしい言葉遣い	36	30	25	36	34	22	10	193
12	自分の思いや考えを話す	40	34	31	47	41	40	12	245
14	基本的な学習のルールを身に付ける	31	25	26	30	31	26	9	178
16	目標に向かってがんばり続ける	38	28	27	41	43	33	9	219
18	家庭での生活リズムをほぼ一定	30	21	21	29	22	20	9	152

保護者が重要と考える項目

□ 1年 ■ 2年 ▨ 3年 ■ 4年 ▩ 5年 ▪ 6年 ■ 発達



(3) 実践部会（職員）と学校運営協議会のメンバーとの熟議

☆ チャレンジ期の評価

(あいさつ) ... 10月21日レベルアップ!
 (あいさつ) ... 新橋中
 ※ ... 委員会 (10月12日) ...

☆ チェンジ期の取り組みについて

※ロードマップも合わせながら検討・修正

<やさしい> 放送と学級自治を結び合わせる
 放送は1週間ごと ... 6年と年(1) ...
 (6-21-1) ...

自分たちを生かして育てる

自分たちを育てる ... (他の子のために ...)
 ⇒ (個) ... (金)

(放送) 1/3 ... (金) 1/5 ...

☆ ... (白雲)
 <あいさつ> ... 1/7 ...

※そのまま印刷します。チェンジ期に取り組むことを具体的に記入してください。

ねか(通) 子供たちの 自発的参加

☆ チャレンジ期の評価

☆ チェンジ期の取り組みについて

※ロードマップも合わせながら検討・修正

- 学び見つけ... 自主学習の例をブログで紹介
 - ※更新のペースは要相談
12.4年の週
5.6年の週
→ 2週に一回?
・写真1クラス1枚
・「記録写真」「かしこい子部」
→「自学」に保存
- ステップアップ表... 積極的に活用を
 (個別のマップ) (クラス全体としての位置、
本時の目標など)
- みらいプレート... 授業の導入、終末など発達段階に応じた活用を
- 9月に計算力テスト2回目実施
 - 結果から、伸びを見る
 - 10月以降 (県定着度を解く (弱点の確認)、前年度の結果を
見ておく。過去問?)
 - さんタイムで補充していく
↓
さんタイムや授業で補充
 - データ「かしこい子部」→「算数」に保存
印刷室の棚の整理、目的は?(弱点強化?問題:解く?)
ドリルパーク活用できるか、反復、上位の子も伸ばしたい(時間:計る、問題数)
- ミニゲームの活用... トントンゲームの活用など授業で5分程度やっている
2年生の姿を1年生に見せる
- ICT... ミライードは使いやすい ドリルパークや 課題の提出もやっていきたい
(いつ、何、やるか) (クラスルーム)
把握できる)

※そのまま印刷します。チェンジ期に取り組むことを具体的に記入してください。

☆ チャレンジ期の評価

- ① 保護者に、子どもが何をめあてにがんばっているのかをもっと知ってもらおう。
- 学校評価の保護者評価を向上させたい。
- ② 前期(チャレンジ期)の振り返りをしっかりとした上で、次の目標を立たせたい

☆ チェンジ期の取り組みについて

※ロードマップも合わせながら検討・修正

- ② チャレンジ期のめあての反省と前期の反省(キャリアパスポート)をじっくり行う。
- その反省を、次の目標設定につなげ、より具体的な目標を立てる。
(流れは、別紙参照)

- ① (新たな取り組み) 個人めあてを、あらっ子学習カードに、常に見られるような形で貼る。
- 個人めあての月ごとの振り返りも、あらっ子学習カードに貼った紙に行う。→ 保護者も、「今がんばっていること」「進捗状況」を知ることが出来る
- (教室に貼るめあては、振り返りの枠を無くす)

○ 持久走記録会

「順位」ではなく「個人記録」!!
昨年同様、子どもたちの意識改革!!

こんな紙をはたらどうしよう。

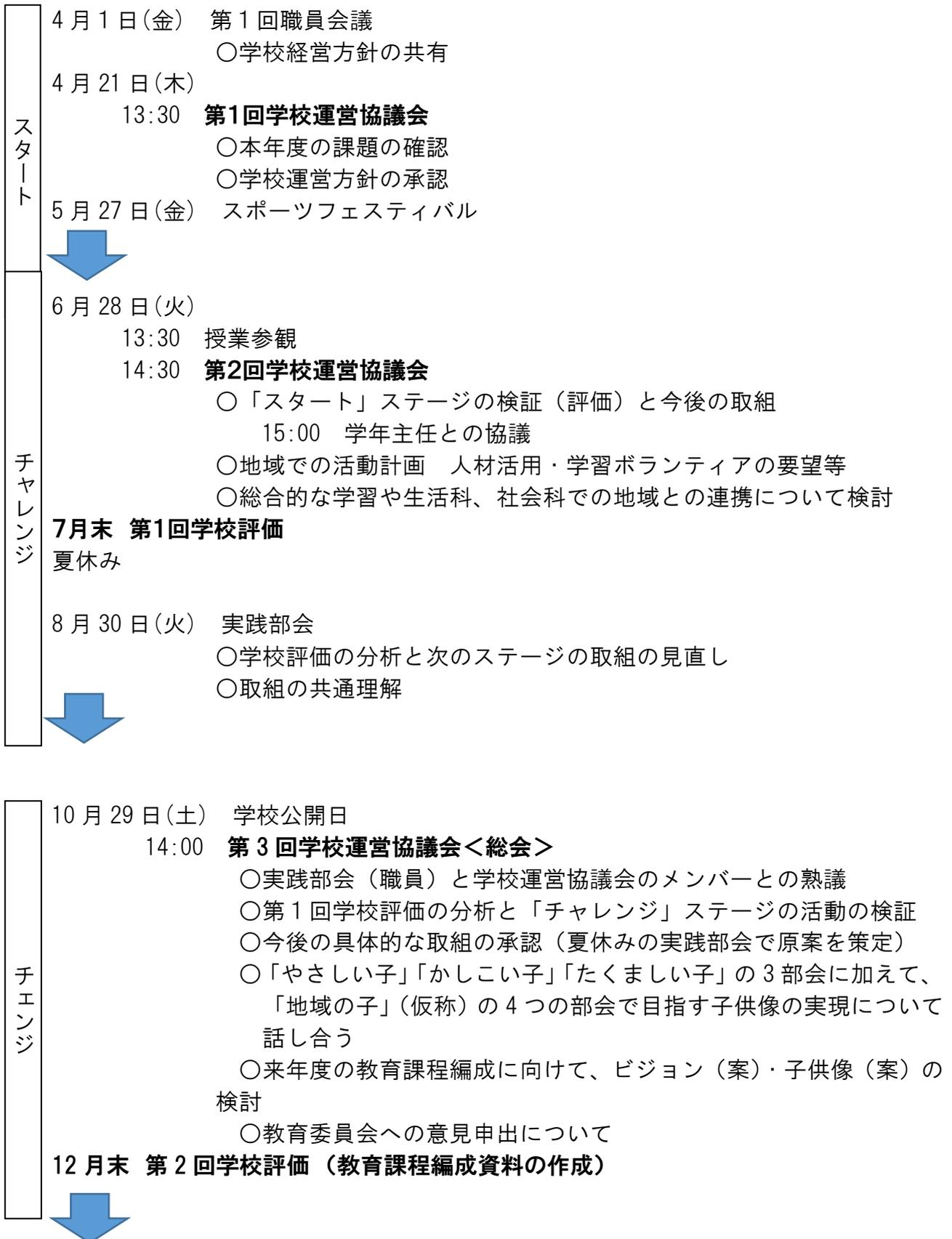
めあて

チェンジ

10月	◎	○	△	11月	◎	○	△	12月	◎	○	△
-----	---	---	---	-----	---	---	---	-----	---	---	---

記入してください。

亀玉小学校 コミュニティ・スクール 学校運営協議会計画



1月～ 次年度の教育課程編成

- 職員でビジョンの設定（第2回で検討したビジョンを基にする）
- 「2023 Aratama Plan（グランドデザイン）」の作成
- 各実践部会で、次年度の子供像、具体的な取組を作成
- 目指す子供像を実現するための年間行事計画の作成
- 教育課程冊子の作成

2月17日（金） あらっこ学習発表会

13:30 授業参観

14:30 **第4回学校運営協議会**

- 第2回学校評価の分析
- 「2023 Aratama Plan」（来年度の基本方針）の概要説明
- 次年度の教育課程の説明と検討
- 来年度の課題と具体的な手立ての説明と検討
- 学校関係者評価の実施



浜松市が目指す子供の姿
 ○自分らしさを大切にする子供
 ○夢と希望を持ち続ける子供
 ○これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

鹿玉中学校区の目指す子供像
 ○心を磨く
 ～認め合い共によさを磨き合う子供～
 保幼小中の連携



学校教育目標 **自ら考え みがき合う子**

学校経営目標 **～なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、主体的に考える力を育てる学びの創造～**

やさしい子

かしこい子

たくましい子

○自分や友達によさが分かる子
 ○やさしい言葉遣いをする子

○基礎基本を身に付けた子
 ○自分の考えを相手に分かるように伝え、相手の考えを自分の考えに生かす子
 ○学習したことと身近な生活とのつながりを見つけられる子

○目標に向かってチャレンジしたり、粘り強く取り組んだりする子
 ○心と体の健康を考えて行動する子

主体的・対話的で深い学び 教育の情報化 カリキュラム・マネジメント

かかわる力

相手の思いを受け止め、自分の考えを伝える

キャリア教育

見つめる力

自分のよさを見つけ、生活に生かす

チャレンジ力

目標や課題に向かって、解決のために粘り強く取り組む

つなげる力

なりたい自分のイメージを描く

発達支援教育の理念を根幹にすえた教育（児童理解と授業改善）

家庭地域との連携協働

～社会に開かれた教育課程～
よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る

学校運営協議会

家庭
PTA
NPOセキヨア
あらかに広聴隊

地域
まちおこしの会
自然塾
シニアクラブ
地域安全推進委員

参観会・学校便り・学年便り・保護便り・ブログ

必須

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校の目標や課題を、学校長と共有することができた。
- 目指す子供の姿、身に付けたい資質・能力などのビジョンについて理解を深めることができた。
- 校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、十分な熟議ができた。
- 各委員が、様々な視点で学校運営の基本方針について意見を述べ、充実した熟議となった。

必須

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校運営の基本方針について熟議をしたことにより、活動内容と基本方針との関係が理解でき、熟議を円滑に進めることができた。
- 授業補助や花壇整備等、学校からの要望について具体的な支援策を熟議することができた。
- コロナウイルス感染症予防対策のため、学習支援ボランティアの関わり方について熟議した。
- 職場体験について学校から提案があったが、コロナ禍の中での実施について、受け入れ先の対応等、課題が多く挙げられた。

必須

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校運営の基本方針について熟議したことで、各委員の学校教育への理解が深まった。来年度は学校課題の改善に向けて、更に熟議をしていきたい。
- コロナウイルス感染症予防対策のため、熟議の時間があまり確保できず、学校運営に資する活動について熟議することができなかった。来年度は、学校運営に資する活動について熟議をしていきたい。
- 様々な立場の委員の意見を聞いたことで、学校や子供を捉える視点が広がった。学校、家庭、地域の役割を整理し、家庭・地域へ発信していきたい。
- コロナ禍の中で、学校行事等について、何ができるか、何をすべきか熟議することができた。学校の教育活動がより充実するよう、来年度も協議会として学校へ意見を伝えていきたい。
- 協議結果を受け、学校支援コーディネーターが地域人材を発掘し、放課後学習の支援を行うことができた。来年度も継続し、さらなる充実を図りたい。

※学校運営協議会ごとに、評価項目を追加する場合

＜評価項目4＞ （ 協議会の取組や学校運営に資する活動について、教職員、児童生徒、保護者、地域に周知することができたか。 ）

- 校長や教頭以外の教職員と意見交換をする機会がなかった。互いに顔を知り、相互理解を深めたうえで、学校運営に資する活動の熟議を進めていきたい。
- CS便りを発行し、協議会の活動の様子を広報することができた。
- 地域への周知が十分ではなかった。周知の仕方も含めて改善していきたい。
- 学校ウェブサイトについても有効に活用していきたい。

※学校運営協議会ごとに、評価項目を追加する場合

＜評価項目5＞ （ 協議会の取組や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し、協働することがで

- コロナの影響で、読み聞かせや授業補助のボランティアを募集することができなかった。来年度はコロナ禍でどのような学校運営に資する活動ができるか熟議していきたい。
- 中学3年生の受験の面接練習で、地域の方に面接官をしていただき、緊張感のある、良い面接練習を行うことができたと考える。
- 職場体験はできなかったが、地域の方に働くことについて話をしていただき、学習の充実を図ることができたと考える。

学校運営協議会自己評価実施要項

浜松市教育委員会

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則(令和元年 浜松市教育委員会規則第2号)第8条に規定する学校運営協議会(以下「協議会」という。)の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

(必須) ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。
- 3 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)。

(参考) ※各協議会で設定する。

- 4 協議会の取組や学校運営に資する活動について、教職員、児童生徒、保護者、地域に周知することができたか。
- 5 協議会の取組や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し、協働することができたか。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、OS便りや学校のウェブサイト等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

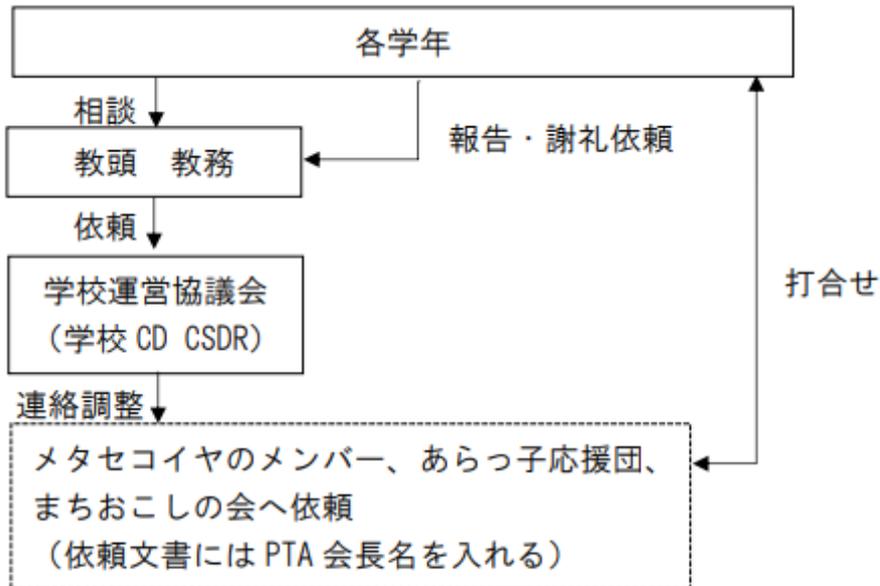
教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

学習ボランティアについて

学習ボランティア、校外学習の講師・ボランティアの要請と受け入れのフロー



7月以降の学習ボランティアの要望

1年

日時（時期）	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
1月中旬	生活科	昔の遊びに興味をもち、体験することができる。	体育館	来ていただける方何人でも

2年

日時（時期）	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
2学期 10月～11月頃	生活科	町探検	学校周辺地域	6人

3年

日時（時期）	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
7月8日（金） 予備日 7/11（月） 摘蕾時期	総合的な学習の時間	学区の特産物である大平の柿の様子を知るために見学する。	足立安検さんの柿園	1～2人

11月5日(金) 予備日11/9 摘果時期	総合的な学習の時間			
9月上旬～ 中旬		「なかよくなろう あらた な人・もの・こと」	スズキ果物農 園	1～4人
随時	算数科	個別支援の補助 内容理解を深める	教室	1人

4年

日時(時期)	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
9月	いきいき	地域の福祉について	教室	2人
随時	算数科	個別支援の補助	教室	1人

5年

日時(時期)	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
	総合	SDG'S		

6年

日時(時期)	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
2学期からの 予定	家庭科	ミシン縫い	家庭科室	
2学期後半	総合	「生き方」について お話又はパネリスト	教室(体育館)	

発達

日時(時期)	教科・領域	活動目的・内容	活動場所	人数
随時	国語・算数 交流教科 その他	個別支援の補助 児童の見守り	わかば 交流教室 校内・なかよし	1人 数人 1人

見守りボランティア

日時(時期)	活動目的・内容	活動場所	人数
随時	個別支援の補助 児童の見守り	校内 (各教室・廊下・ 校舎周り)	5人程度

コミュニティ・スクールとウェルビーイング

- 学校管理職マネジメント研修（浜松市教育センター主催 令和4年6月17日（金））
これからの時代の学校経営に求められる学校管理職としての考え方を養う目的で、校長を対象に実施されました。CSに関わる内容だったので、概要を紹介します。

研修会 講話 ポイント

講師：藤原 文雄 氏

文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長
教育データサイエンスセンター副センター長

演題 「学校と社会をつなぐマネジメント ～これからの人づくり・学校づくり～」

「本日皆さんと考えたい問い」

○ コミュニティ・スクールという制度を活用して、それぞれの勤務校の児童生徒及び教職員の幸せ（ウェルビーイング：Well-being）をどう実現するか

× コミュニティ・スクールの導入をどう進めるか

< 学習内容 >

- (1) コミュニティ・スクールのどこがいいのか～より良い意思決定とリソース（資源）調達～
 - (2) 学校における働き方改革
 - (3) 教育課程の改善・充実、生徒指導の充実、支援が必要な児童生徒への支援の充実
 - ・子供たちを幸せにする学校のシナリオは、そばにいる教職員プロ集団が創っている。
 - ・学校のPDCAに、子供を育てる当事者として、権限と責任を持って地域住民・保護者にも加わってもらう。子供に必要な力は何かを共有し、連携・協働していく。
 - ・教育のプロとして、学校のカリキュラム・マネジメントに、地域住民・保護者を巻き込んでいくことで改善・充実を進めていく。
 - ・学校の役割の明確化。教職員が子供と向き合う時間が増えていく展開を考える。
- ※ 平成28年度の同研修での藤原氏の講話は、「社会に開かれた教育課程とコミュニティ・スクール」でした。

お知らせ ◆ コミュニティ・スクールの情報満載 ◆

文部科学省 Web サイト

「学校と地域でつくる学びの未来」

<https://manabi-mirai.next.go.jp/>

6月11日（土）に開催された「地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2022 兵庫」がYouTubeでアーカイブ配信されています。熟議の様子動画を見ることができます。

○ CS担当教職員研修会を開催しました。(令和4年7月5日(火))

研修の内容

1 説明

- ①浜松市のCSの目的・概要
- ②学校運営協議会の熟議内容の例
- ③令和4年度CSにかかる事務連絡

2 グループ協議(中学校区等情報交換)

グループ協議

- 自己紹介
学校名・氏名・CS導入年度
前任校等でのCSとの関わり
- 【テーマ】
○本校の学校運営協議会の在り方
～展望・課題～
- CS担当教職員としての悩み
- 本日の協議会の感想等



熟議内容の例①

都田小「研究授業を参観！」

校内研修に協議会委員の意見を取り入れることにしました。研究授業を協議会委員が参観し、その後の校内研修にも参加をさせていただきました。

黄色の付箋が協議会委員のみなさんの意見になります。

研修後には、**研修の在り方、進め方等についての熟議**が行われました。

プラスの効果として、「職員が学校運営協議会を知る機会にもなった。」との話がありました。



熟議内容の例②

犬居小「授業(総合)に参加！」

6年生の総合的な学習の時間に協議会委員が参加しました。「香野の未来を考えよう」をテーマに学習を進める中で、「大人の意見を聞く」という時間を設定しました。

授業参加後に、協議会を開き、その中では、「子供たちの学びを地域に広げていくことはできないか」との意見が聞かれました。学校の特色づくりにもつながっていきそうです。



その他にも、上阿多古小、倉玉小、横山小、倉玉中の熟議内容の例を紹介しました。また、豊西小の「学校支援CDマニュアル」、与進北小の「ワークシートを活用した学校支援ボランティアとの連携」についても紹介しました。突然のインタビューにお答えいただいた先生方、ありがとうございました。

●職員への周知が大きな課題！

会議録を読んだことないかも…

グループ協議では、主に中学校区での情報交換を行いました。その中で多く聞かれた課題の一つに、「職員への周知:コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について、職員の理解が進まない…」がありました。みなさんは、以下の問題にいくつ答えることができますか？

【問題1】コミュニティ・スクールとは？()の中に言葉を入れてみましょう！

()を設置している学校のことである。

【問題2】()の中に、1~10の数字(各1回ずつ使用)を入れてみましょう！

- ① 浜松市では令和()年度からコミュニティ・スクールの本格導入を開始。
- ② 現在、浜松市立小中学校の約()割がコミュニティ・スクールである。
- ③ 令和()年度には、浜松市立小中学校全校がコミュニティ・スクールになる計画である。

<浜松市学校運営協議会規則より>

- ④ 協議会は、委員()人以内で組織する。(第9条)
- ⑤ 委員の任期は()年とする。(第10条)
- ⑥ 協議会に会長及び副会長()人を置く。(第13条)
- ⑦ 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
→委員が()人の場合は、()人以上、
()人の場合は、()人以上の出席が必要。(第14条)

コミュニティ

1. 協議会の目的
2. 協議会の組織
3. 協議会の運営
4. 協議会の役割
5. 協議会の関係機関
6. 協議会の関係機関
7. 協議会の関係機関
8. 協議会の関係機関
9. 協議会の関係機関
10. 協議会の関係機関

挑戦してみよう！
ワークシート「あなたのCS理解度は？」
※ミライム共通キャビネットに検印

1. 協議会の目的
2. 協議会の組織
3. 協議会の運営
4. 協議会の役割
5. 協議会の関係機関
6. 協議会の関係機関
7. 協議会の関係機関
8. 協議会の関係機関
9. 協議会の関係機関
10. 協議会の関係機関

コミュニティ・スクールで期待される効果

子供たちにとっては

- ・学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実します。
- ・多くの人と関わることにより、夢と希望を持つことができます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。

教職員にとっては

- ・地域のみなさんの理解と協力を得た学校運営が実現します。
- ・地域のみなさんの協力により、教育活動の充実と子供と向き合う時間の確保につながります。

保護者にとっては

- ・保護者同士や地域のみなさんとの人間関係が構築できます。
- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。

地域のみなさんにとっては

- ・経験を生かすことで、子供や地域の役にたっているという充実感につながります。
- ・学校を通して多くの人と交流することができます。
- ・学校と連携・協働して子供たちを育てることにより、地域の活性化につながります。

ボランティアによる学校支援活動の例



家庭科

多くのボランティアの協力により、一人一人のニーズに応じた学習となりました。



総合的な学習の時間

地域の農家の方との豊かな体験を通し、探究課題の設定につなげることができました。



社会科

室町文化の1つである「生け花」を体験することで、日本の伝統や文化に対する関心を高めることができました。



学校給食

低学年の給食を見守っていただいたことで、スムーズに配膳が進み、食事の作法も上手になりました。



児童会・生徒会活動

地域のみなさんと語り合いながら作業をすることで、つながりが深まり、進んで花の世話ができるようになりました。



浜松市の学校が変わっていくのが楽しみだな。私も子供たちのためにボランティアに参加しようかな。

浜松市のコミュニティ・スクールについて知りたい方はこちらへ

